

事例名	災害の記憶を風化させないための防災講演会・パネル展・啓発イベントと出前講座 ～平成16年の台風第23号による災害から10年～
チーム名 【所属名】	丹後土木防災啓発プロジェクトチーム <b>【丹後広域振興局 建設部 河川砂防室】</b>
メンバー氏名	河川砂防室・企画調整室 職員一同
アピール ポイント	<p>《所属長：丹後土木事務所長 山本 崇裕》  災害被害を最小限度にするために、自助・共助・公助の連携した取り組みが必要であり、公助とは違い、自助・共助は個人レベル、地域レベルの取り組みで、継続発展させていくためには様々な段階での意識付けや働きかけが必要であり、防災関係者の課題でもあった。防災の関心が高まる今、丹後にとってハード対策の基準ともなる平成16年の台風23号を題材契機として、自分たちで出来る手段を市町とも連携し試行したものであり、啓発意識付けに大きく貢献した。</p> <p>《アセッサー：丹後土木事務所 前川 眞吾》  近年、異常気象による災害が頻発する中、府民の防災に対する関心が非常に高まっている。府民に具体的な防災に対する認識を持ってもらうため、市町等と連携し全面的に展開している取り組みです。</p>
取組の目的	<p>京都府内各地で3年連続、水害・土砂災害が発生！丹後地域に大きな被害をもたらした平成16年の台風第23号による災害から10年が経過しており災害の記憶を風化させない取り組みが必要。一方で管内の府管理河川、土砂災害危険箇所の施設整備率は低い状況にあり、全てを施設整備で対応するには膨大な時間と費用がかかる。そのため、「行政・防災・教育」の関係機関と「地域」が連携し、災害への備えや自助・公助の大切さを伝え、水害・土砂災害のリスク情報を可視化して地域全体で共有し、住民の防災意識を向上するための防災・減災啓発活動に取り組んだ。</p> <p><b>【平成26年度 府丹後広域振興局運営目標 府民参加1,000人】</b></p>
取組の ターゲット	<p><b>【目標府民参加1,000人のターゲット】</b>  防災関係者(消防等)100人、②自治体職員70人、③教育関係者60人、④小中高生250人、⑤府管理河川の流域住民70人、⑥土日の民間商業施設来場者500人、⑦その他：管内2市2町の住民</p>
取組内容 プロセス	<p>○防災講演会：10/20、宮津市歴史の館、府丹後広域振興局と管内市町の共催、テーマ「各地域で作る防災プラン・防災マップ（京都府立大学 三好先生）」、「風水害から地域を守るために（舞鶴工業高等専門学校 三輪先生）」、<b>参加172人</b></p> <p>○パネル展示：府丹後土木事務所と管内市町の共催、民間商業施設で開催、H16台風第23号の襲来・豪雨、洪水・土砂災害による被害状況、災害復旧工事、H26福知山水害・広島土砂災害、防災情報の入手方法、台風23号襲来時の大手川出水ビデオ上映、来場者への語りかけ、ガンバレ治山君実演、まゆまる・観光キャラ缶バッチ製作、防災メールPRなど、<b>【①宮津市10/24～27、②伊根町10/31～11/3、③与謝野町11/7～10、④京丹後市11/21～24】参加2,244人</b></p> <p>○啓発イベント：①改修を終えた大手川で地域団体が継続して河川環境整備を行う仕組みを構築7/25～、②改修中の加悦奥川で工事見学会を開催7/8、<b>参加88人</b></p> <p>○出前講座：①間人小6/7、②府立海洋高6/23、③教頭会議9/18、④与謝小10/28、⑤三河内小11/20、⑥宮津小11/25、⑦伊根小12/17、⑧石川小2/25、<b>参加386人</b></p> <p><b>【その他取り組み：丹後広域振興局総務室所管】</b>  ○防災・減災リーフレット：「地震、大雨などの災害から自分自身を守るために」、H27.2に管内2市2町で全戸配布、<b>配布数42,300部</b></p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の防災意識の向上や災害の記憶を風化させないための一助となる水害・土砂災害から地域を守る防災・減災の啓発を<b>約2,900人の府民参加</b>を得て目標達成!!</li> <li>新聞報道・市町広報誌10記事、NHKテレビニュース「京いちにち」放映時間90秒</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>H16の台風第23号の災害から10年の節目にあわせ、主要啓発行事を10月20日を契機に集中して実施</li> <li>H26福知山水害(8月16日～17日)、広島土砂災害(8月20日)を受けて、住民の防災・減災へ関心が高まった機会をとらえ市町広報誌、記者発表等による啓発行事のPRを強化</li> <li>企画段階から「行政・防災・教育」の関係機関と意見交換を実施。既存の取組・制度を活用して内容を充実させるとともに相互の職員等に過度な負担がかからないよう配慮</li> <li>「地域」の持つマンパワー・知恵・資源を結集。多様な手段・手法により、丹後管内一円の幅広い世代に数値目標を掲げてコストをかけずに全員参加で啓発行事を実施</li> </ul>
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>未開催地域の小学校へ出前講座</li> <li>家庭で共有できる災害記録誌(リーフレット)作成、配布</li> <li>災害時要援護者施設等へ押しかけ訪問</li> </ul>